

提供日 2026/8/13

タイトル 最新鋭デジタルPET-CT「Omni Legend 32 Plus」を導入しました

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 TEL 054-247-6111 (代)



～ともにつくる信頼と安心の医療～

静岡県内初、最新鋭デジタルPET-CT装置「Omni Legend 32 Plus」を導入

～デジタル技術の活用により、がん診療の精度向上と患者負担の軽減を実現～

1. 要旨

静岡県立総合病院は、がん診断精度のさらなる向上を目指し、GE ヘルスケア社製の最新鋭デジタルPET-CT装置「Omni Legend 32 Plus (オムニ・レジェンド 32 プラス)」を導入し、9月1日より稼働を開始いたします。

なお、「Omni Legend 32 Plus」の導入は静岡県内初となります。

本装置は最新鋭のデジタル検出器とAI（ディープラーニング）技術による画像処理を搭載しており、従来機と比較して「検査時間の短縮（低侵襲化）」と「高画質化」を両立させた、精度の高い画像診断を可能にします。

2. 導入の背景

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、高度ながん診療を提供してまいりました。このたび、PET-CT装置を最新鋭のデジタルモデルへ更新することにより、がんの病期診断、治療効果の判定、転移・再発の診断、さらには認知症診断等の精度を高め、最高水準の画像診断環境を構築します。

3. 新装置「Omni Legend 32 Plus」の主な特徴

① 検査時間の短縮と患者様の負担軽減

撮像時間を15分へ短縮：PET検出器の有効視野が従来装置の15.7cmから32cmへと大幅に拡大しました。これにより、検査時間が従来の約25分から約15分へと大幅に短縮され、患者様の身体的負担を軽減します。

感度が約4倍に向上：半導体（デジタル）方式の検出器を採用したことで、検出感度が従来のアナログ機（8.4 cps/kBq）から約4.3倍（47.3 cps/kBq）に向上しました。短時間の撮影でもクリアな画像を得ることができます。

② 呼吸移動による画像ブレの補正（Advanced Motion Free）

被験者の呼吸による体動を追従・補正する機能「Advanced Motion Free（AMF）」を搭載しました。肺や肝臓など、呼吸の影響を受けやすい部位における画像のボケやSUV値のばらつきを抑え、微小な集積の検出能が向上しました。

③ AI（ディープラーニング）技術による高画質化（Precision DL）

GEヘルスケア社が開発したAI（ディープラーニング）技術「Precision DL」を採用しました。ノイズを効果的に抑えつつコントラストを高めることで、病変の位置や形を明瞭に捉えられるようになりました。

④ CT 撮影時の被ばく低減

CT 検出器が従来の 16 列から 64 列へと拡大したほか、逐次近似画像再構成アルゴリズム「ASiR」を搭載しました。これにより、CT 撮影時の被ばく線量を効果的に抑えた検査が可能です。

4. 稼働開始日

- ・機器設置完了： 令和 8 年 8 月 21 日(金)
- ・診療稼働開始： 令和 8 年 9 月 1 日(火)

5. 今後の展望

本装置の導入により、高度化するがん診療へのニーズに応えるとともに、近隣の医療機関からの検査受託も積極的に行い、静岡県全体の医療の質の向上に貢献してまいります。



画像：Omni Legend 32 Plus（オムニ・レジェンド 32 プラス）

（問合先）静岡県立総合病院 総務課 静岡市葵区北安東 4-27-1 電話：054-247-6111（代）

記者提供用 補助資料

1. 圧倒的な検出感度（dBG0 検出器）

技術解説：従来の結晶（BG0）をデジタル化した「dBG0（デジタル BG0）検出器」を搭載。
具体的数値：「従来のアナログ PET-CT と比較して、感度が 4 倍以上に向上（※GE 社従来機比）」
「これにより、数ミリ単位の微小な病変（がん）の検出能が飛躍的に高まりました」

2. AI 技術「Precision DL」の搭載

技術解説：ディープラーニング（深層学習）を用いて開発された画像処理技術。
具体的数値：「画像内のノイズを抑えつつ、病変のコントラストを約 11%向上（※GE 社従来機比）」
「従来の画像再構成では難しかった『低ノイズ』と『高コントラスト』の両立を実現し、医師の診断の確信度を高めます」

3. 検査時間の短縮と低被ばくの実現

技術解説：高感度検出器により、少ない放射性薬剤量、短い撮影時間でも高品質な画像が得られます。
具体的数値：「全身の PET 撮影時間を最短 5 分程度まで短縮可能（※条件による）。従来の半分以下の時間で検査が完了します」
「投与する薬剤量を低減できるため、患者様の内部被ばく線量を大幅に抑えることが可能です」

4. 検査環境の快適性（患者フレンドリー設計）

技術解説：大口径ボアと新しいシステムデザイン。
具体的数値：「70cm の大口径ボアを採用。従来の装置よりも開口部が広く、閉塞感による不安を軽減します」
「MoodLight（ムードライト）機能により、検査室の照明を和らげ、リラックスした環境での検査を提供します」

Omni Legend 32 Plus の主な仕様】

検出器タイプ	デジタル BG0（dBG0）検出器
CT スライス数	128 スライス（高精細マルチスライス CT 搭載）
ボア径（開口部）	70cm（クラス最大級の広さ）
画像再構成	AI 技術 Precision DL（ディープラーニング・画像処理技術）
	従来の 4 倍以上の感度による微小病変の発見
	約 5 分（※条件による PET のみ）での高速全身スキャンによる負担軽減

当院の PET-CT 設置状況

- ・Omni Legend 32 Plus（オムニ・レジェント 32 プラス）GEヘルスケア社製 1 台 2026 年 9 月～
- ・Discovery MI（ディスカバリーエムアイ）GEヘルスケア社製 1 台 2022 年 7 月～